



# かがやく浜の子

令和8年度5月号③

令和8年度 重点目標 「自分から チャレンジ」

【文責 校長】

## 「聴く」ことは「学び」の土台づくり

本校では、1年間を4つのステージに分けて教育活動に取り組んでいます。これは、今年度の目標である「自分からチャレンジ」に向けて、期間ごとに何に力を入れて取り組むかを明確にして、スモールステップで目標達成を目指すためです。

第1ステージ 「にこにこなかよしチャレンジ」・・・4月7日～6月7日

第2ステージ 「どんどん自分でチャレンジ」・・・6月8日～9月30日

第3ステージ 「ぐんぐんみんなでチャレンジ」・・・10月1日～1月6日

第4ステージ 「きらきらかがやきいっぱいチャレンジ」・・・1月7日～3月19日

第1ステージ「にこにこなかよしチャレンジ」のステージでは、「自分からチャレンジ」の土台である「温かな雰囲気のある学級・学校づくり」に取り組んでいます。学びづくりでは、授業における「聴く」ことの大切さについて子供たちに気づかせ、「聴く力」を身に付けることができるようにしているところです。

1年生のはじめの頃は、「黙って最後まで聴く」や「話している人の方を向いて聴く」ことを意識させています。この時、単に「聴きなさい！」ではなく、「なぜそうすることがいいのかわかるとか」を伝えたり、一緒に考えたりすることを大事にしています。「聴く」ことが相手への思いやりであり、自分が話をするときの安心感であることを理解し、実感を積み重ねることで、温かな授業の空気や話をすることの自信につながっていきます。「聴く」ことは、学習における「自分からチャレンジ」の大切な一歩です。



1・2年生でも話している友達をしっかりと見て聞いています！だから、話す人もみんなの前でも自信をもって話ができます。

学校でしっかりと人の話を「聴く」ことができる子は、自分の話を十分に「聴いてもらっている」子が多いと感じます。忙しい毎日ですが、ほんの少し、手を止め、スマホを置いて、お子さんの目を見ておしゃべりを聴いてあげただけなら幸いです。自分の話を大切に聴いてもらえた満足感が、「他人の話も大切に聴こう」という意欲に直結します。友達の話聞き、「自分から学びを深めていく子」の土台づくりに、学校と家庭が手を取り合い、言葉を大切に話し合える子供たちを育てていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。